

鶴岡工業高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)	授業科目	総合実践英語 I	
科目基礎情報						
科目番号	0035		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	専攻科一般科目・共通専門科目		対象学年	専1		
開設期	前期		週時間数	2		
教科書/教材	Monozukuri Companies (SHOHAKUSHA)					
担当教員	丹生 直子					
到達目標						
TOEIC®スコア400点以上を保持し、更なる得点アップを目指す。TOEIC®に取り組むにあたり、学習上必要となる語彙、文法の増強を図る。						
ループリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1 英語の語彙・文法・表現を身につける。	英語の表現を身につけ、状況や話の流れに応じて内容を的確に把握することができる。		英語の語彙・文法・表現を身につけ、ある程度把握ことができる。		英語の語彙・文法・表現を身につける事が出来ない。	
評価項目2 解答への適切なアプローチを身につける。	TOEIC®形式の問題解答にあたり、根拠を明確にして、解答することができる。		TOEIC®形式の問題解答にあたり、問題内容のある程度理解して解答することができる。		TOEIC®形式の問題解答にあたり、問題の内容を理解できず、解答することができない。	
学科の到達目標項目との関係						
④英語力を含めたコミュニケーション力						
教育方法等						
概要	現在TOEIC®スコア400点程度の実力があり、最終的に500点に到達することを目指します。TOEICの試験問題の演習に加え、テキストを使い日本のそれぞれの企業のものづくりについて書かれた文章を読む。					
授業の進め方・方法	1回の授業ではテキストの内容とTOEIC®形式の練習問題を扱う。テキストの内容は、語彙・文法等の基礎的な学習内容と、TOEIC®の問題形式からなる問題。皆さんの基礎力を高めるために、問題の形式・内容、英文の構造、内容について理解を確認しつつ解説を行い、授業内の一定時間を用いてTOEIC®に対応する練習をおこなう。					
注意点						
事前・事後学習、オフィスアワー						
オフィスアワー：15:00-17:00、教員室						
授業の属性・履修上の区分						
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input checked="" type="checkbox"/> ICT 利用		<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応		
<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業						
授業計画						
		週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	Unit 1 Mazuda	演習の結果をみて適切に修正しながら学習を進めることができる		
		2週	Unit 2 ハウス食品	演習の結果をみて適切に修正しながら学習を進めることができる		
		3週	Unit 3 TOTO	演習の結果をみて適切に修正しながら学習を進めることができる		
		4週	Unit 4 SHIMANO	演習の結果をみて適切に修正しながら学習を進めることができる		
		5週	Unit 5 MAZDAデザイン	演習の結果をみて適切に修正しながら学習を進めることができる		
		6週	Unit 6 UCC	演習の結果をみて適切に修正しながら学習を進めることができる		
		7週	Unit 7 DAIFUKU	演習の結果をみて適切に修正しながら学習を進めることができる		
		8週	Unit 8 サクラクレパス	演習の結果をみて適切に修正しながら学習を進めることができる		
	2ndQ	9週	Unit 9 YANMAR	演習の結果をみて適切に修正しながら学習を進めることができる		
		10週	Unit 10 特集記事	演習の結果をみて適切に修正しながら学習を進めることができる		
		11週	Unit 11 OTAFUKU	演習の結果をみて適切に修正しながら学習を進めることができる		
		12週	Unit 12 TOMBO school uniform	演習の結果をみて適切に修正しながら学習を進めることができる		
		13週	Review Lesson			
		14週	Review Lesson			
		15週	Back-Up			
		16週	Exam			
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標						
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	3	
				明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	3	

			<p>中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切な運用ができる。</p> <p>3</p>	
			<p>中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。</p> <p>3</p>	
		英語運用能力の基礎固め	<p>日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。</p> <p>3</p>	
			<p>日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。</p> <p>3</p>	
			<p>説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。</p> <p>3</p>	
			<p>平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。</p> <p>3</p>	
			<p>日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。</p> <p>3</p>	
			<p>母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。</p> <p>3</p>	
			<p>実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。</p> <p>3</p>	
		英語運用能力向上のための学習	<p>自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。</p> <p>3</p>	
			<p>英語でのディスカッション(必要に応じてディベート)を想定して、教室内でのやり取りや教室外での日常的な質問や応答などができる。</p> <p>3</p>	
			<p>英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動できる。</p> <p>3</p>	
			<p>母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。</p> <p>3</p>	
			<p>関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。</p> <p>3</p>	
			<p>関心のあるトピックや自分の専門分野のプレゼン等にもつながる平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答などのやりとりができる。</p> <p>3</p>	
			<p>関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。</p> <p>3</p>	
			<p>英文資料を、自分の専門分野に関する論文の英文アブストラクトや口頭発表用の資料等の作成にもつながるよう、英文テクニカルライティングにおける基礎的な語彙や表現を使って書くことができる。</p> <p>3</p>	
		<p>実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適切に用いることができる。</p> <p>3</p>		

評価割合

	試験	学習状況・態度	小テスト・課題	合計
総合評価割合	70	10	20	100
基礎的能力	70	10	20	100